

■ 地域の魅力を再発見！ “まち探検へ 出かけよう” (矢倉小学校)

1 【活動の趣旨】

知っているつもりでいる「矢倉の魅力」をまち探検を通して、より広く深く学び、子どもたちの郷土愛を育む。

「矢倉記憶絵の会」の方を中心とした地域の方とのふれあいを通して、子どもたちが、人や地域とのつながりの大切さを体験的に学び、次の世代に伝えていこうとする態度を育てる。

2 【特徴的な活動内容】

○「まち探検に出かけよう」

矢倉の地域を4つのコースに分け、それぞれの魅力について「矢倉記憶絵の会」の方に解説していただき、矢倉の魅力について改めて知る。

○「学んだことを地域に還そう」

まち探検で「矢倉の魅力」として知ったこと、感じたこと、考えたことなど、子どもたちが学んだことの地域への発信を行った。地域の「ふれあいまつり」や地域の人との交流会などの場で、一緒に遊んだり学んだことの発表を行ったりした。



3 【実施に当たっての工夫】

子どもたちが意欲的に見通しを持って学習に取り組めるよう、オリエンテーションの段階から「矢倉記憶絵の会」の方に参加いただき、それぞれの探検コースについて持参の教材を提示しながら分かりやすく解説いただいた。

学んだことの「発信」においては、子どもたちが主体的に取り組めるよう、「やぐらマップ」や「やぐらかるた」、「絵合わせ遊び」、「ガイドブック」など、子どもたち自身のアイデアを活かした発表や交流を行った。

4 【事業の成果】

参加者の反応より、「案内人として説明した内容よりもさらに詳しい説明があり、調べ学習に感心した。」「かるたや絵合わせでは、大人がとりやすいように正面に向けてくれるなど、思いやりを示してくれていたことに感激した」など、子どもたちの学びの深まりや地域、人とのつながりを十分に感じることができた。また、その反応を受けて子どもたちは、「たくさんの人に聞いてもらえて良かった」「もっといろんな人にやぐらの“すてき”を伝えたい」など、充実感やさらなる意欲を持つことができた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

スクールE S Dをより進めていくために、「南草津駅や街道沿いに子どもたちの手作りのガイドブックを設置する」など、「矢倉」を外に向けて発信していくことが考えられる。

まちづくりセンターとの連携をより密なものとし、「矢倉のステキを知ろうカルタ会」など、子どもたちの学習成果物を用いた交流会のような、地域と子どもがつながる時間や場所をつくっていききたい。